

第2章 文化芸術振興の背景

第2章

文化芸術振興の背景

1. 文化政策を取り巻く状況

(1) 国の動向

■ 文化施策の取組

わが国では、昭和41年に文部省内に文化局が設置され、その2年後に文化財保護委員会と統合され、文化行政の中心を担う文化庁が発足しました。

昭和50年代には、地方自治体において「行政の文化化³」や「地方の時代」が唱えられ、都道府県や政令指定都市等大都市において、文化振興担当部局が設置され、自治体全体として総合的な文化振興が進められました。

この流れの中で、公共による文化的な街並み・景観・生活環境をつくる事業等が精力的に展開されたほか、民間企業においても、メセナ活動⁴への機運が高まり、社団法人「企業メセナ協議会」が設立され、芸術振興の民間の拠点が形成されました。

■ 文化芸術振興基本法の制定

国は、平成13年12月に文化芸術振興のための基本的な法律となる「文化芸術振興基本法⁵」を制定し、文化芸術振興に関する国・地方自治体の責務を明らかにするとともに、「地域の特性に応じた」自立かつ主体的な文化芸術施策を地方自治体に求めています。

国は、平成23年度から概ね5年間を対象期間とする第3次基本方針を策定していますが、その中で、文化芸術振興に当たっての基本的視点として、「成熟社会における成長の源泉」、「文化芸術振興の波及力」、「社会を挙げての文化芸術振興」の3つを示しています。

■ 近年の動向

近年では、日本のアニメ文化が世界中で注目を集める等、日本の文化芸術は、古くからの優れた伝統文化のみならず、「クール・ジャパン⁶」とも称され世界的に高い評価を得ているメディア芸術等の現代文化に至るまで、多様な広がり豊かさを内包しています。

³ 行政の文化化: 行政全体を文化の視点で問い直すという考え方。

⁴ メセナ活動: 企業が行う文化活動あるいは文化支援活動のこと。

⁵ 文化芸術振興基本法: 文化芸術に関する活動を行う人々の自主的な活動を促進することを基本としながら、文化芸術の振興に関する施策の総合的な推進を図り、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することを目的とする。

⁶ クール・ジャパン: 日本の文化面でのソフト領域が国際的に評価されている現象、又はそれらのコンテンツそのものを指す。具体的には、ゲーム・漫画・アニメなどを指す場合が多い。

(2) 東京都の動向

■ 東京都文化振興指針の策定

東京都では、「文化芸術振興基本法」の制定や公の施設への指定管理者制度の導入等、文化を取り巻く環境の新しい動向に対応するため、平成 17 年 2 月、都の文化施策に関する幅広い議論の場として、各分野のアーティストや有識者等による「東京都の文化施策を語る会」を設置しています。そして、翌年出された提言を踏まえて、世界が東京に文化的な魅力を感じ、都民が文化的豊かさを誇ることができ、文化創造の基盤が充実した「創造的な文化を生み出す都市・東京」を目指して「東京都文化振興指針」を策定しています。

(3) 西東京市のこれまでの取組

■ 西東京市の文化芸術振興施策についての提言

平成 17 年に西東京市の文化及び芸術を振興する施策について市民の意見を聴くため、西東京市文化芸術振興施策懇談会を設置し、平成 18 年 9 月に「西東京市の文化芸術振興施策について」提言（以下、懇談会提言）を受けました。

この懇談会提言の基本理念は、①文化芸術の享受と創造への支援、②市民の主体性を保障、③地域文化芸術の振興の 3 本を柱として、市民と市の役割を明確にし、市民参加を中心とした事業実施に当たり、条例の制定が必要であるというものでした。

■ 西東京市文化芸術振興条例の制定

市では、懇談会提言を踏まえ、全ての市民が心豊かに暮らせるまちを目指して、平成 22 年 4 月に「西東京市文化芸術振興条例」（以下、条例）を施行しました。

この条例は、国の「文化芸術振興基本法」の規定に基づき、西東京市における基本理念や重点目標を定め、市民、市、市内で活動する事業者、教育機関や活動団体等の役割を明らかにし、西東京市が文化芸術の香りあふれるまちとなることを目指し定めたものです。

■ 各種調査による課題の把握

平成 22 年 8 月に条例に基づく推進機関として「西東京市文化芸術振興推進委員会」（以下、推進委員会）を設置しました。市では、文化芸術の振興に係る課題を把握するために、市民アンケート調査、文化芸術活動団体アンケート及びヒアリング調査、子供を対象としたアンケート調査及びワークショップ⁷等を実施して、市民の文化芸術活動の現状と文化芸術活動に関するニーズを把握し、その結果について推進委員会で議論しました。

■ 西東京市文化芸術振興計画への提言

懇談会提言や条例の趣旨の下、各種調査から浮かび上がった課題に対応するための「西東京市文化芸術振興計画への提言」が、平成 23 年 3 月に推進委員会より市へ提出されました。

⁷ ワークショップ：司会進行役を中心に、参加者が自発的に発言し、意見交換することができる場。

2. 西東京市の現状と課題

(1) 西東京市の概況

西東京市は、平成 13 年 1 月 21 日に田無市と保谷市が合併して誕生しました。

このまちの歴史は古く、縄文時代には下野谷遺跡⁸に大集落が存在し、近世には江戸時代に青梅街道宿場町として栄える等、先人から受け継いだ貴重な遺産が残っています。戦後は、公団住宅等の建築が盛んに行われ、都営住宅の建設等により人口が徐々に増加しました。都内へのアクセスがよいため、他の地域からの流入により飛躍的に人口が伸び、現在では 20 万人都市となっています。

(2) 西東京市の文化芸術に関する現状

■ 西東京市の文化芸術に関する施策

市内では、市民による自主的な文化及び芸術活動が盛んに行われており、「市民文化祭」や「市民まつり」等、市民が主体的に活動できるイベントが発展してきました。更に、市民が様々な文化芸術に触れる機会を多く持つことができるように、市内各所で関連した事業を実施しています。

特に保谷こもれびホールでは、指定管理者制度を導入し、民間の経営方法や専門的な知識を活用して、文化芸術に特化した事業を展開しています。芸術性の高い各種ジャンルの公演、演奏や演劇等の鑑賞機会の提供、ワークショップ⁹等の実施によって文化芸術活動の育成及び活性化を図り、更に市民が企画実施する事業に対する応援に努めています。

このことを更に充実させて、全ての市民が心豊かに楽しく、潤いを持って生活を営み、またそうした充足感で地域を活性化させるため、市では市民の多様なニーズを総合的に事業や施策に結びつけ、文化芸術の振興について計画的に推進していくこととしました。

■ 西東京市の文化資源

市内には、過去から現在に至るまでの豊かな文化資源が集まり、市民はこうした文化資源を活用して、文化芸術活動を行っています。活動の機会であるイベントや文化施設等の環境、更にこの地域の文化財等について、西東京市の現状を地図で整理しました。

図 1. 主な文化施設・イベントと交通ネットワークの現況

市内各所で様々なイベントが実施されています。市民の参加を支える市内の交通ネットワークは、鉄道 2 路線を横軸に、路線バスとはなバス¹⁰を縦軸ならびに放射軸に形成されています。

図 2. 文化芸術関連施設の現況

市民の身近な施設で、文化芸術に関連する活動に参加できるようになっています。

図 3. 文化財・公園・緑地の現況

神社仏閣や遺跡をはじめ、貴重な文化財が市内に数多くあることがわかります。

⁸ 下野谷遺跡：市内で発見された遺跡の1つで、関東でも有数の縄文時代中期の大集落跡。遺跡の保存と活用を目的とした下野谷遺跡公園(平成 19 年 4 月開園)は、当時の竪穴住居が再現されており、見ることができる。

⁹ ワークショップ：参加者が経験や作業を披露したりディスカッションをしながら、スキルを伸ばす場。

¹⁰ はなバス：西東京市で運行しているコミュニティバスの愛称。既存のバスサービスではカバーしきれないニーズに対応するため、公共交通空白地域を中心に西東京市内 5 路線を運行している。

図1. 主な文化施設・イベントと交通ネットワークの現況

(平成24年1月現在)

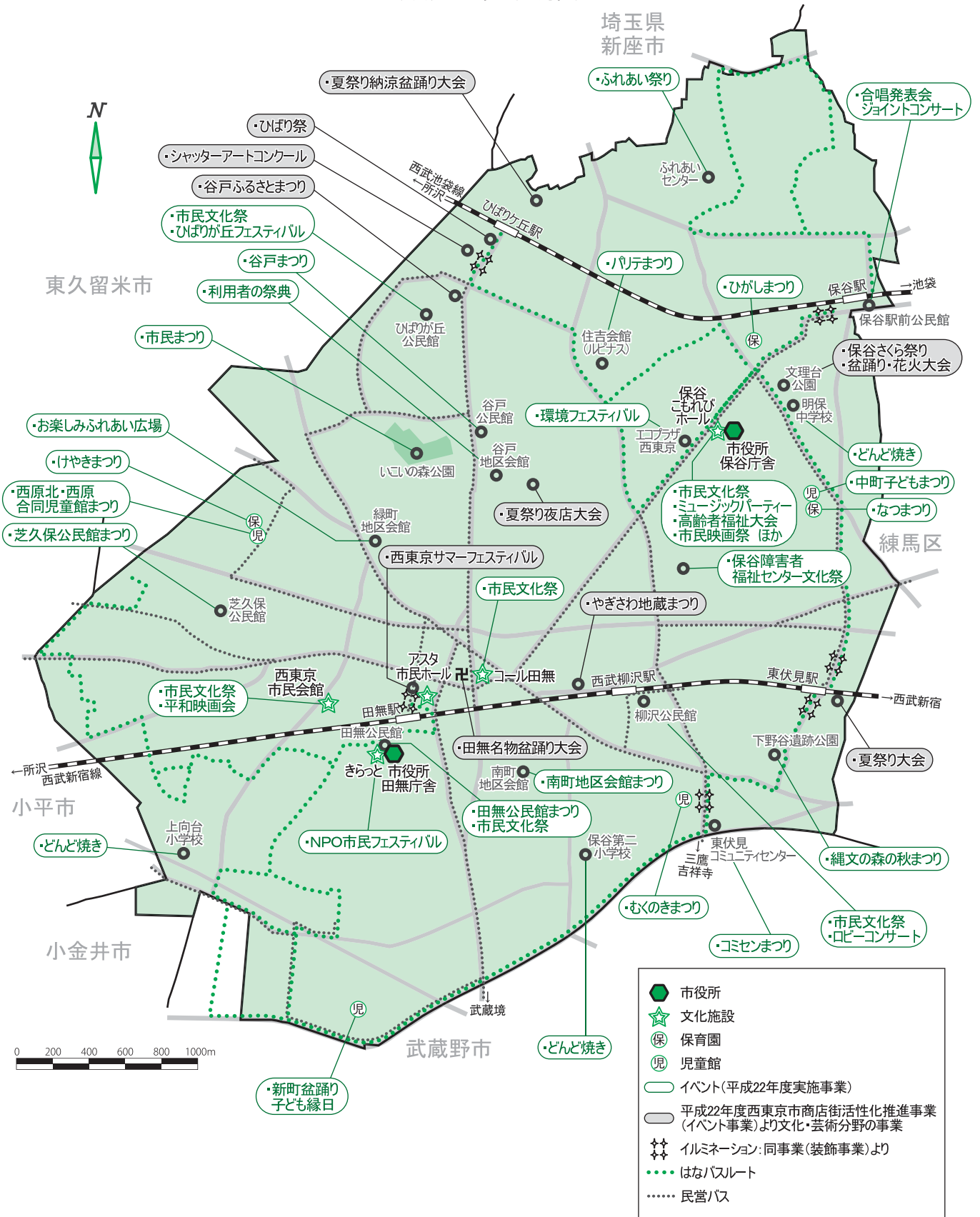
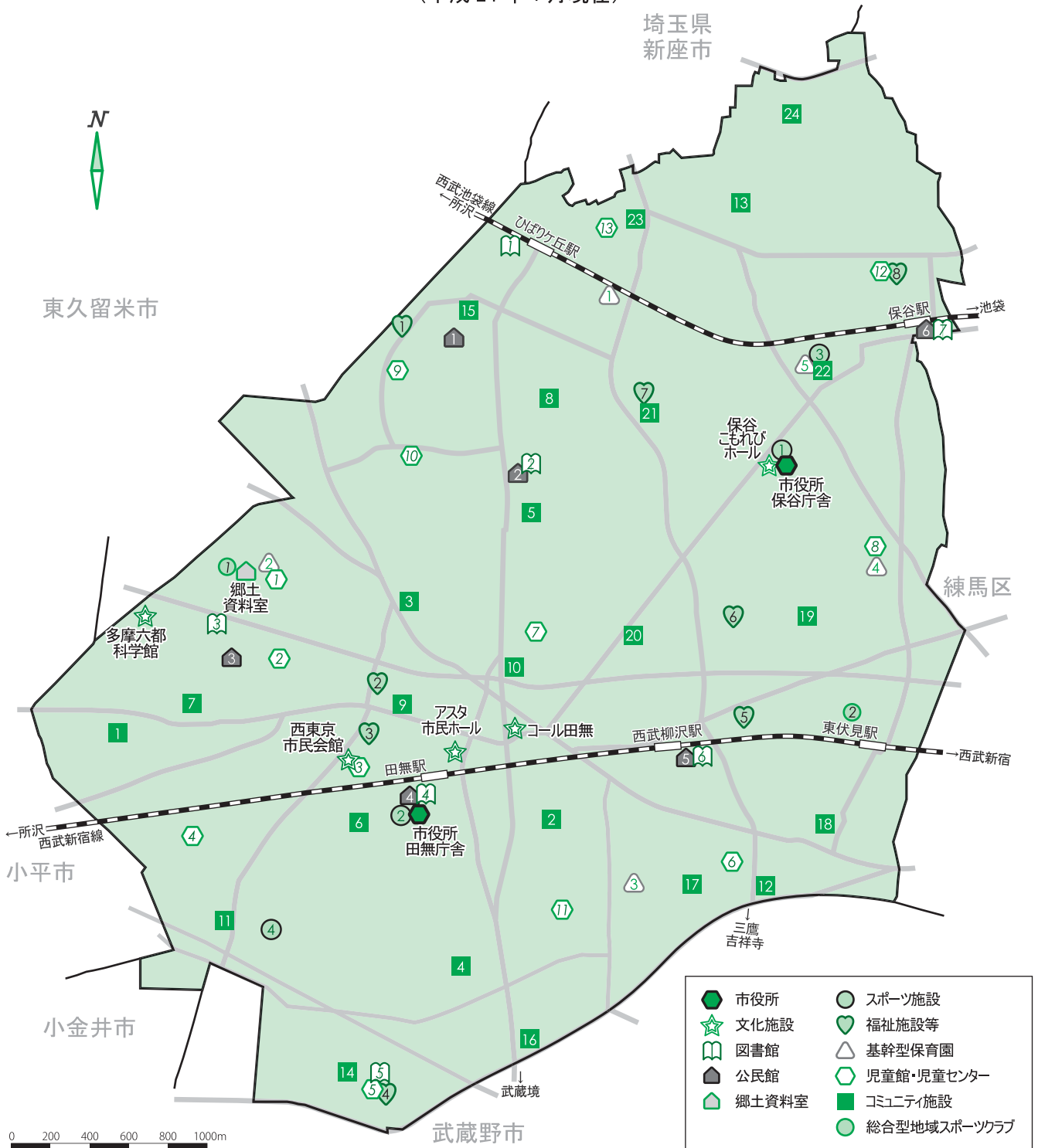


図2. 文化芸術関連施設の現況

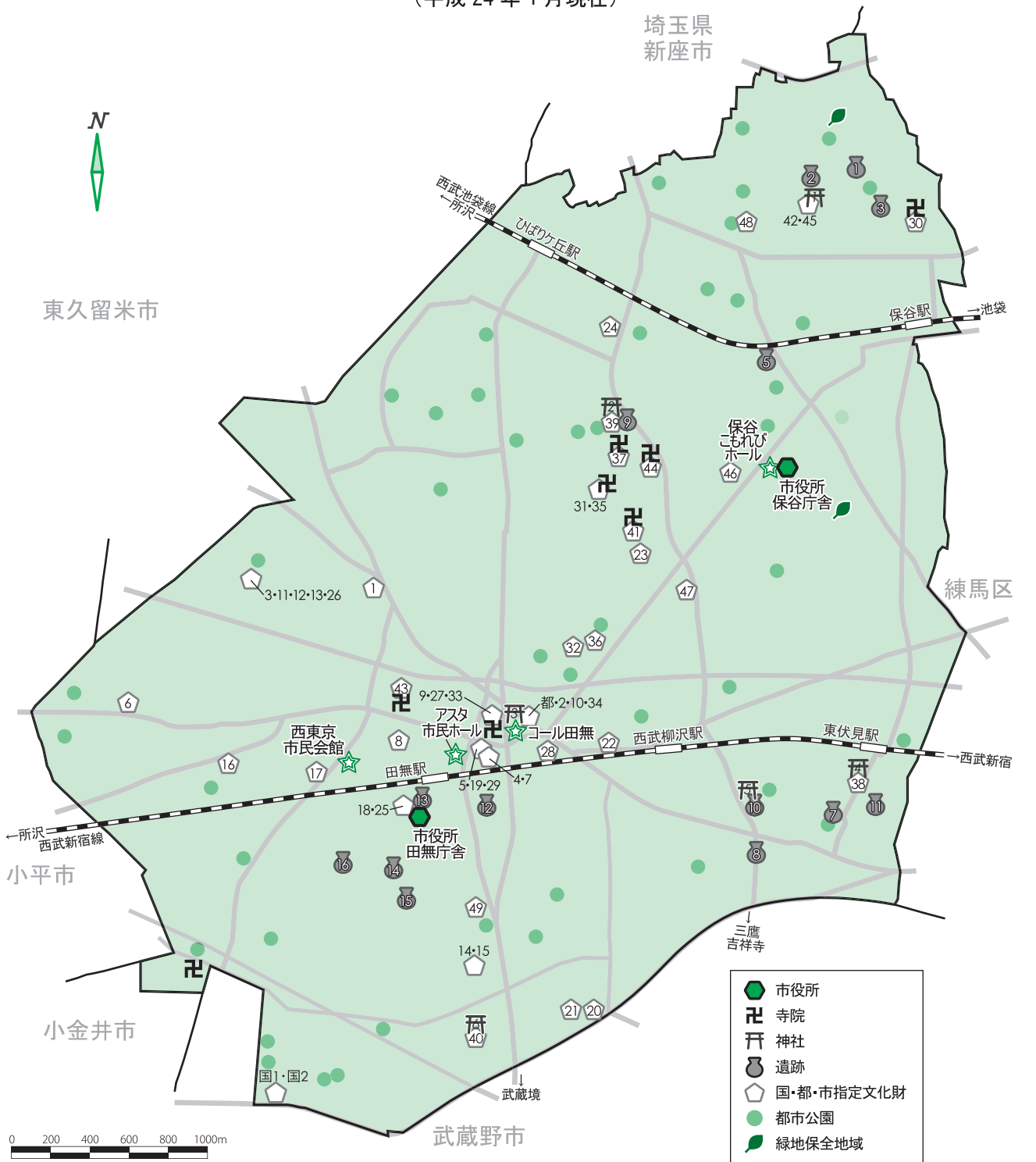
(平成24年1月現在)



- | | | | | |
|---|---|--|--|---|
| <p>図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 ひばりが丘図書館 2 谷戸図書館 3 芝久保図書館 4 中央図書館 5 新町分室 6 柳沢図書館 7 保谷駅前図書館 <p>公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 ひばりが丘公民館 2 谷戸公民館 3 芝久保公民館 4 田無公民館 5 柳沢公民館 6 保谷駅前公民館 | <p>スポーツ施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 スポーツセンター 2 南町スポーツ文化交流センターきらと 3 武道場 4 総合体育館 <p>基幹型保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 すみよし保育園 2 けやき保育園 3 やぎざわ保育園 4 なかまち保育園 5 ひがし保育園 | <p>福祉施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 ひばりが丘福祉会館 2 田無総合福祉センター 3 障害者総合支援センターフレンドリー 4 新町福祉会館 5 富士町福祉会館 6 保谷障害者福祉センター 7 住吉会館 ルピナス 8 下保谷福祉会館 <p>総合型地域スポーツクラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 にしはらスポーツクラブ 2 ココス保東伏見 | <p>児童館・児童センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 西原北児童館 2 西原児童館 3 田無児童館 4 芝久保児童館 5 新町児童館 6 保谷柳沢児童館 7 北原児童館 8 中町児童館 9 ひばりが丘児童センター 10 みどり児童センター 11 田無柳沢児童センター 12 下保谷児童センター 13 ひばりが丘北児童センター | <p>コミュニティ施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 芝久保地区会館 2 南町地区会館 3 緑町地区会館 4 向台地区会館 5 谷戸地区会館 6 下宿地区会館 7 芝久保第二地区会館 8 谷戸第二地区会館 9 田無町地区会館 10 北原地区会館 11 上向台地区会館 12 東伏見コミュニティセンター 13 ふれあいセンター 14 新町市民集会所 15 ひばりが丘市民集会所 16 柳橋第二市民集会所 17 柳沢第三市民集会所 18 東伏見市民集会所 19 富士町市民集会所 20 保谷町市民集会所 21 住吉町第二市民集会所 22 東町市民集会所 23 ひばりが丘北市民集会所 24 北町市民集会所 |
|---|---|--|--|---|

図3. 文化財・公園・緑地の現況

(平成24年1月現在)



- | | | | | | |
|---|--|--|--|--|---|
| <p>寺院</p> <p>1 福泉寺
2 東禅寺
3 如意輪寺
4 寶晃院
5 寶樹院
6 観音寺
7 總持寺
8 持宝院</p> <p>神社</p> <p>1 天神社
2 尉殿神社
3 田無神社
4 氷川神社
5 東伏見稻荷神社
6 阿波州神社</p> | <p>遺跡</p> <p>1 北宮ノ脇遺跡
2 上前遺跡
3 中荒屋敷遺跡
5 南入経塚遺跡
7 下野谷遺跡
8 坂下遺跡
9 上保谷上宿遺跡
10 東伏見稻荷神社遺跡
11 下柳沢遺跡
12 上向台北遺跡
13 下宿遺跡
14 下宿南遺跡
15 上向台西遺跡
16 田無南町遺跡</p> <p>※4・6は欠番</p> | <p>国・都・市指定文化財</p> <p>1 石幢六角地蔵尊
2 田無ばやし
3 延慶の板碑
4 稗倉
5 下田家文書
6 北芝久保庚申塔
7 養老田碑
8 養老畑碑
9 下田半兵衛富宅の木像
10 獅子頭(雄獅子・雌獅子)
11 高札
12 人馬賃銭御定メ掛札
13 蕪山笠
14 十王堂一宇建立の碑
15 玉井寛海法士の墓</p> | <p>16 撃剣家並木先生の墓
17 南芝久保庚申塔
18 地租改正絵図
19 文化九年 検地図
20 文字庚申塔
21 招魂塔
22 六角地蔵石幢
23 青面金剛庚申像
24 又六石仏群
25 田無村御検地帳
26 真誠学舎関係文書
27 尉殿大権現 神号額
28 柳沢庚申塔
29 旧下田名主役宅
30 木彫彩色三十番神神像</p> | <p>31 木彫彩色俱利伽羅不動明王像
32 石製尾張藩鷹場標杭
33 總持寺のケヤキ
34 田無神社のイチヨウ
35 水子地蔵菩薩立像
36 西浦地蔵尊
37 六地藏菩薩立像
38 榛名大権現石造物群
39 石燈籠一対
40 奉納絵馬群
41 一文銭向い目絵馬二枚
42 菅原道真石像
43 観音寺の宝篋印塔
44 馬駆け市大絵馬
45 氏子中奉納題目塔二基</p> | <p>46 保谷囃子
47 岩船地蔵尊
48 蓮見家文書
49 幕末の洋式小銃
国1 小金井サクラ
国2 玉川上水
都 田無神社本殿・拜殿</p> |
|---|--|--|--|--|---|

(3) 文化芸術振興への課題

西東京市の文化芸術を取り巻く現状やこれまでの取組、とりわけ懇談会提言や各種調査による課題の把握、推進委員会での議論等を踏まえ、西東京市の文化芸術の振興に係る課題を次のように整理しました。

西東京市の文化芸術の振興に係る8つの課題

- ① 多様なニーズに合わせた参加機会の提供
- ② 情報の効果的伝達と文化情報発信の仕組みづくり
- ③ 活動場所の整備・充実と、施設を利用しやすい仕組みの構築
- ④ 文化財の保存・継承と活用
- ⑤ 文化芸術活動を担う人材育成
- ⑥ 子供の文化芸術活動の場・機会の提供及び活動の促進
- ⑦ 文化芸術活動を活発にするための活動団体、大学、事業者との連携
- ⑧ 国際交流の促進

① 多様なニーズに合わせた参加機会の提供

市民アンケートによると、約4割の市民が文化芸術活動に参加していないとの回答がありました。一方、市民が今後鑑賞したい、あるいは取り組みたい文化芸術の内容は多岐にわたっています。また、子供の文化芸術活動として力を入れたほうがよいものとして、事業や行事の実施による機会の充実を挙げている市民が約6割と多くなっています。

② 情報の効果的伝達と文化情報発信の仕組みづくり

市民アンケートによると、市民が文化芸術鑑賞や活動を楽しむためには、「イベント情報の提供」が必要だと5割の人が感じています。市報だけでなくホームページや掲示板等様々なメディアを活用した情報の効果的伝達が求められます。また活動団体ヒアリングでは、「ジャンルを超えて他分野の団体と意見交換・交流したい」という意見等、活動団体間の情報交流のニーズも見られました。

③ 活動場所の整備・充実と、施設を利用しやすい仕組みの構築

活動団体アンケートでは、「文化施設の整備・充実」を望む割合が最も高くなっていました。一方で、既存の公共施設の中には、十分に利用されていないものもあることから、必ずしも施設の絶対量が足りないのではなく、施設の内容がニーズにあったものとなっていないことが課題なのではないかと考えられます。また、活動団体ヒアリングでは、市民がより利用しやすいような施設予約の仕組みの構築への要望が見られました。

④ 文化財の保存・継承と活用

平成 18 年 9 月に出された懇談会提言では、文化財や歴史を保存し次代に継承していくことが重要であるとの指摘がありました。

また、市民アンケートによると、市民は文化財や伝統芸能を継承するために「まち歩きなど伝統文化に触れるイベントの開催」(28.9%) や、「伝統文化等の周知」(28.6%) を期待している割合が高くなっています。

⑤ 文化芸術活動を担う人材育成

活動団体アンケートでは、日頃の活動の課題・問題点として「新規会員の募集・育成」が最も多く挙げられていました。団体構成員の高齢化や新規会員が入らない等の問題は多くの活動団体に共通しており、文化芸術活動を活発にするためには、活動への参加者を増やし、文化芸術活動を担っていく人材を育てていく必要があるとの声が多く寄せられました。

⑥ 子供の文化芸術活動の場・機会の提供及び活動の促進

子供を対象としたアンケートによると、中学生・高校生では活動場所は「学校」が極めて多く、学校以外での活動が少ない傾向が見られました。また、中学生、高校生が文化芸術活動を行うためには、「活動場所」が必要だと感じていることがわかりました。

⑦ 文化芸術活動を活発にするための活動団体、大学、事業者との連携

市民アンケートでは、市民が教養を高めたり、地域文化を創造する上で必要な連携機関として「市内高校・大学」(47.6%) や「企業」(30.4%) が挙げられています。

また、活動団体ヒアリングでは「市の事業と共催したい」「市主催の意見交換会が有効」「他分野の団体との交流が活動の発展に有益」とする意見も出されました。

⑧ 国際交流の促進

社会経済の国際化が進む中、西東京市においても外国籍の市民が多く在住しています。

市民アンケートでは、外国人との交流を促進するために「外国人と市民との交流活動・イベントを充実する」ことが必要だとする意見が最も多く、約半数の人がこれを望んでいます。



西東京市の二大イベント

毎年秋に、西東京市の二大イベントである「西東京市民文化祭」と「西東京市民まつり」を実施しています。イベントは、市民で構成される実行委員会との共催で実施しています。

●西東京市民文化祭

西東京市民の文化活動の向上を図るとともに、市民相互の親睦を深めることを目的として、毎年10月から11月にかけて市内8か所の公共施設と如意輪寺で実施しています。「西東京市民文化祭」は「出会いふれあい文化の輪」をテーマとして、活動のジャンル20部、参加団体数201団体、出演者4,190名（平成23年度実行委員会発表）と、多くの市民の活動と交流に支えられて開催しています。

平成23年度は西東京市誕生10周年を記念して、活動団体に参加していない個人の活動参加者を募り、文化祭の舞台発表までを体験していただくことを企画しました。市民に親しまれる文化祭を目指して、実行委員会で創意工夫をしながら実施しています。



●西東京市民まつり

毎年11月の2週目の土曜日・日曜日の2日間に西東京いこいの森公園で開催される「西東京市民まつり」は、「新しいふるさとの創造」をテーマに、西東京市の新たな伝統や風土、地域文化の創造を高め、市民と市との協働によって、人と人とのつながりを大切にしたおまつりを目指して実施しています。

開催に当たっては、市民実行委員の他、警察署や消防署、商工会や農業従事者、学校等多くの皆様にご協力をいただきながら実施しており、出店や演芸、パレード等、様々な催しを通して市民の皆様が親しまれています。毎年、多くの来場者で賑わうおまつりです。

